

チュートリアル課題 脈を数えてみましょう

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2019-06-24 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 東京女子医科大学 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.20780/00032212

2013年度 Segment. 4

課 題 No.3

課題名：脈を数えてみましょう

課題作成者：医学教育学
薬理学

村崎かがり
出口敦子



無断で複写・複製・転載すると著作権侵害となることがありますのでご注意ください。

シート1

秋子さんは元気な20歳の本学学生です。

あまり運動はしていませんでしたが、今年は、東京国際マラソンに出場しようと練習を始めました。

練習のため皇居の周りを走っていると、脈拍数を数えながらトレーニングしている人がいるのに気がつきました。秋子さんも脈拍数を見ながら走ることにしました。

秋子さんは練習を始めたときには、つらいと思った道のりも、練習とともに徐々に楽に早く走れるようになり、脈拍数も急には増えなくなったことに気がつきました。

シート2

秋子さんは、脈拍数は自分の思ったとおりに調整することはできないけれども、秋子さんの意志とは無関係に他の要因により変化することに興味を持ちました。

早速、図書館に脈拍数に影響を与えるものについて調べに行ったところ、さまざまな薬があることがわかりました。

シート3

秋子さんは毎日脈拍数を数えるのが習慣になりました。 あるとき自分の脈を測っていたら、規則正しく打っていないときがあることに気がつきました。

びっくりした秋子さんは、病院に行くことにしました。 病院では心電図をとりました。

シート4

心電図には異常はありませんでした。 病院で医師は「心臓は電気で動くポンプですが、電気系統の異常があると脈が規則正しく打てず、血液がきちんと送り出せなくなることがあります。」と説明し、脈の不整の原因を調べるためにさらに24時間心電図検査（ホルター心電図検査）をすることになりました。

シート5

数日後、秋子さんは結果を聞きに病院に行きました。

医師は「24時間心電図では期外収縮がみられます。これは、心臓の中で勝手に電気の興奮が起こって生じます。」と図を描きながら心臓の電気信号の伝わり方を説明しました。

また、実際の24時間心電図を秋子さんに示しながら、「秋子さんの期外収縮は主として、夜休んでいるときに出ており、運動中には減っているようです。また、出てる数もごく少数ですよ」といいました。